

柳井市都市公園施設長寿命化計画

令和3年3月

山口県柳井市 都市計画・建築課

1. 都市公園整備状況

(令和3年3月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
19 公園	34.63ha	11.30 m ²

2. 計画期間 [令和3年度～令和12年度(10箇年)]

3. 計画対象公園

①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9	17

②選定理由

柳井市にて管理する都市公園のうち、策定済みである柳井ウェルネスパーク、茶臼山古墳歴史の広場を除く全ての都市公園を対象とした。

4. 計画対象公園施設

①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
132	23	183	40	0	20	35

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
371	-	-	804

②これまでの維持管理状況

公園管理者が定期的に維持保全(点検、修繕、清掃等)と日常点検を実施している。遊戯施設は、これらの管理に加え、日本公園施設業協会(JPFA)が策定した「遊具の安全に関する規準 JPFA-SP-S:2014」に基づき毎年1回の定期点検を実施している。この定期点検により危険箇所が発見された場合、緊急度の高いものから補修を行ってきた。

③選定理由

本市の管理する都市公園は、設置より30年以上経過した公園が約6割を占め、10年後には約9割に達する見込みである。これまで、劣化・損傷に対する対応は随時行ってきたが、これまで公園施設の更新はほとんど行われておらず、公園施設の老朽化が顕在化してきている。
本計画については全ての公園施設を対象とし、予備調査や健全度調査を実施し、予防保全型と事後保全型の管理類型を分類した。

5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要（個別施設の状態等）

健全度調査は、令和2年12月から令和3年3月までの期間に実施した。

1. 一般施設、建築物

健全度調査は、公園施設長寿命化計画策定指針（案）に準じて実施し、その結果を公園施設履歴書にとりまとめた。

2. 遊具等

「JPFA-SP-S：2014（一般社団法人日本公園施設業協会）」に基づき毎年実施している定期点検結果を活用した。

3. 各種設備

現在、著しい不具合等は確認されない。

（施設）

	健全度判定				備 考
	A	B	C	D	
a. 一般施設 （ 698 ）	341	286	71	0	
c. 土木構造物 （ 58 ）	31	25	2	0	
d. 建築物 （ 8 ）	0	8	0	0	
b. 遊具等 （ 40 ）	7	32	1	0	修繕実施済み

6. 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、5.で示した「健全度判定」及び「考慮すべき事項」から設定した「緊急度判定」に基づくこととした。

考慮すべき事項は、年次計画検討時に公園施設の種類等より設定を行った。

（施設）

	緊急度判定		
	高	中	低
a. 一般施設 （ 698 ）	0	72	626
c. 土木構造物 （ 58 ）	0	2	56
d. 建築物 （ 8 ）	0	0	8
b. 遊具等 （ 40 ）	0	2	38

7. 対策内容と実施時期

①日常的な維持管理に関する基本的方針

維持保全（清掃・保守・修繕等）と日常点検は、公園管理者が計画的に実施し、施設の劣化、損傷を把握する。また、軽微な劣化、損傷が把握された場合は、部分的な修繕等を適宜実施していく。

なお、公園施設の異常（著しい劣化等）が発見された場合は、速やかに公園施設の使用中止を実施し、公園施設の利用による事故等を予防する。

また、この時点で専門業者等による健全度調査を実施し、撤去又は補修若しくは更新を判断し併せて策定した公園施設長寿命化計画の見直しを行う。

②公園施設の長寿命化のための基本方針

健全度判定を基に、第三者への影響などを考慮し、優先順位を決めて補修、更新する。

補修、更新を計画的に実施することにより、劣化、損傷による事故を未然に防ぎ、機能を保全しつつ、公園施設の長寿命化を図る。

今後は、毎年点検を実施する「遊戯施設等」を除く公園施設に対し、おおむね5年ごとに健全度調査を実施する。

なお、次回健全度調査実施後は、本計画に計上した長寿命化対策の実施状況を踏まえつつ、次回健全度調査の結果に基づき、調査時から向こう10年間の公園施設長寿命化計画の見直し、策定を行い、公園施設の長寿命化、維持管理費の縮減を図っていく。

8. 計画の見直し予定

①計画の見直し予定年度 【令和7年度】

②見直し時期、見直しの考え方など

- ・次回以降の健全度調査の結果が、長寿命化計画で定めた内容と著しく乖離が生じた場合には、長寿命化計画の見直しを行う。
- ・公園の利用状況を考慮しつつ、今後、廃止・集約化に向けた検討を実施する予定。